

NEW

AI活用システム1

物流コールセンタ(商材・薬剤)

SPD室への問い合わせを、まずはAIにおまかせ
今まで消えているデータを蓄積・分析して、見える化・効率化

「この物品、どこにある?」「在庫は?」「昨日はいつ入ってきた?」
現場スタッフからの問い合わせを、AIが受けて、その場でお答えします。

声で聞いて、声で答える

マイクに話すだけ。
キーボードを打つ必要無し

AIが代わりに
先に答える

担当者なしで、スタッフが自力解決

全ての情報を蓄積

電話では消えてしまう質問内容を
データで蓄積
自動的にナレッジベースになる

データ分析で見える化・効率化

蓄積したデータを分析して、現場が
困っていること見える化
効率化につなげる

NEW

AI活用システム2

定数管理システム(商材・薬剤)

発注の「勘」を、データに。
病院の物流を、定期的に見直すためのシステム

「発注点はいくつ?」「安全在庫はどれくらい?」「この物品、発注のタイミング合ってる?」
物品管理の数字を、実際の消費データからまとめて計算します。

消費パターンでグループ分け

物品の動きをグループ化
管理の手間を減らします

特殊な物品を自動仕分け

急な変動・低頻度品を別管理にして
見落としを防ぐ

発注の基準をまとめて計算

発注点・安全在庫・発注単位を自
動で算出。
倉庫サイズまで考慮します。

定期的な見直せる

数千点の定点でも数分で計算
定期的な全数見直しが現実的に

CONTACT

まずは30分の
オンライン概要説明会から。

medical-all@dynaxt.co.jp

<https://dynaxt.co.jp>

TEL:087-887-8881 FAX: 087-887-8889

株式会社 DynaxT

〒761-0301 香川県高松市林町 2217番地6

TEL: 087-887-8881 / FAX: 087-887-8889

MAIL: medical-all@dynaxt.co.jp

WEB: <http://www.dynaxt.co.jp/>

6羽の鳥、2つのAIが、 病院の物流を 見える化する。

手術室・カテ室・薬剤部・物流・マスタ・経営——

部門ごとに分かれていた「点」を、ひとつの「線」につなぐ総合ラインナップ。

AI活用2製品をラインナップに追加

Hawk

統合マスタ

Kestrel

物流

Condor

薬剤

EaGle

手術室

Falcon

カテ室

BirdEye

経営可視化

物流コールセンタ(商材・薬剤)

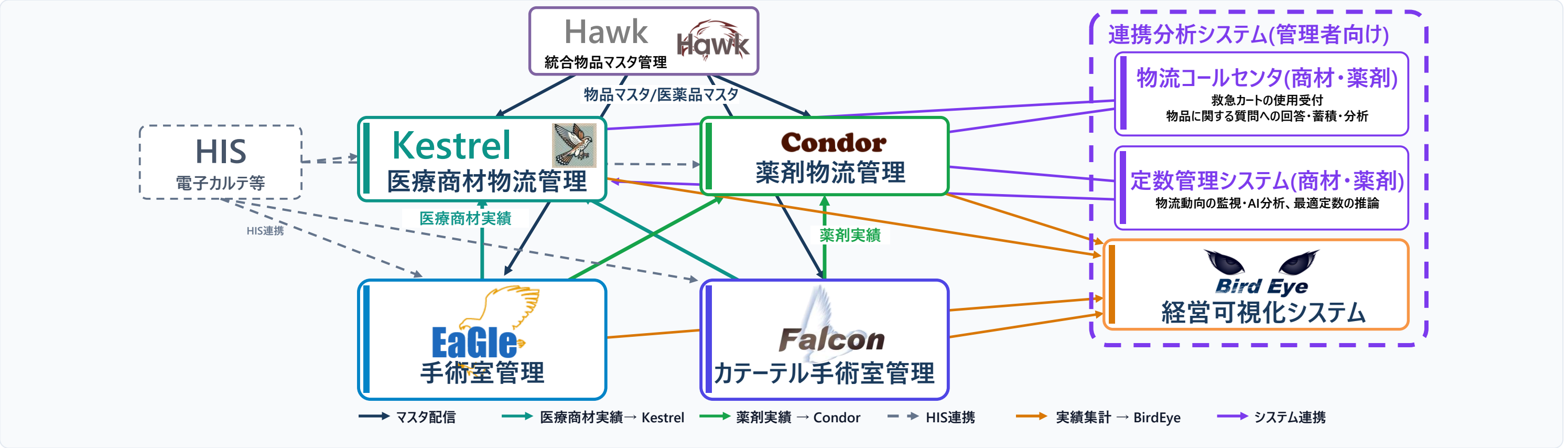
AI活用・業務効率化・現場可視化

定数管理システム(商材・薬剤)

AI活用・業務効率化・物流最適化

院内システムの連携とAI活用で新たな力を

製品相関図 — 6製品の役割と連携



製品ラインナップ LINEUP

Hawk ホーク

部門ごとに二重管理されがちな物品マスタを院内で一元化。各製品にマスタを配信します。

統合物品マスタ

Kestrel ケストレル

入荷・請求・払出・棚卸・発注までの物流業務を一元管理。バーコード・ロット・ユニーク管理を標準装備。

医療商材物流管理

Condor コンドル

薬剤の仕入・在庫・請求・払出を薬剤部と各部署でつなぎます。定数管理・後追い発注にも対応。

薬剤物流管理

EaGle イーグル

手術オーダーから計画・準備・術中記録・術後までを一元管理。消費をバーコードで記録します。

手術室管理

Falcon ファルコン

高額医療材料の使用履歴と予定を一元化。HIS・RIS連携、カテ室特有の記録にも対応します。

カテーテル手術室管理

BirdEye バード・アイ

複数システムのデータを横断集計し、経営層が前日までの数字を俯瞰できる補助ツールです。

経営可視化

製品の価値 WHO GETS WHAT

対象	主に使う製品	得られること
情報システム	Hawk	部門システム間のマスタ不整合を解消
資材部	Kestrel	入荷～払出の物流を一元化
薬剤部	Condor	薬剤の請求・払出・棚卸を効率化
手術室	EaGle	消費をバーコードで漏れなく記録
カテ室	Falcon	高額材料の使用履歴とカテ台帳
経営層	BirdEye	高い視点から数字を俯瞰

！こんな課題を解決します

- ▶ 部門でシステムが違う——物品に複数のコード
- ▶ 高額材料の記録漏れ——医事請求が追いつかない
- ▶ 数字が届くのが遅い——月次まで状況不明
- ▶ 間接業務の増加——物流状況・物品・薬剤についての質問で業務が圧迫

連携AIシステム AI Assistant

物流コールセンタ(商材・薬剤)

物品の質問・救急カート受付をAIが一次対応

- 在庫・受払・使用量をその場で照会
- 救急カートの使用受付にも対応
- 解決しない質問だけ担当者へ（履歴も引継ぎ）
- 対応履歴を分析して、問題を見える化

効果 問い合わせ対応を半減・自己解決6割超

定数管理システム(商材・薬剤)

発注の“勘”を、データで最適化

- 物流動向を監視しAIが消費を分析
- 発注点・安全在庫など最適定数を推論・提案
- 特殊な動きの物品を自動で仕分け
- 月1回など定数で見直して、不良在庫を縮小

効果 見直し 数日→数分 過剰在庫10～30%減